

第4学年 国語科「ぴったりの言葉, 見つけよう」

本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

・児童が意欲的に活動するための工夫として、ムーブノートやオクリンクを使って自分の考えの交流を行い、自分の意見をより良いものにするために生かす。→協働的な学び

○使用したアプリやコンテンツ

- ・友達の見意見を参考にし、自分の意見をよりよいものにしていく。
- ・意見交流後に手直しをしたものを一覧表にして発表する。



本時の展開

【ねらい:自分の気持ちに合った言葉や表現で書くことができる。】

	分	主な学習活動
導入	5	1 日常生活の中での日々の喜怒哀楽を思い起こし、心が動くということを考える。
展開	35	2 うれしかった、悲しかったなどの言葉を使わずに、心が動いたことをムーブノートに記入し、友達と自分の考えを交流する。→協働的な学び 3 日記形式で5～6文の短い文章を書く。→個別最適な学び めあて・・・心が動いた出来事をぴったりの言葉で表そう。 4 黒板に映されたオクリンクの一覧表を参考に友達のを考えを知り、学びを深める。→協働的な学び
まとめ	5	5 友達の表現から、適切な表現や、紹介したい表現を指名し、互いによいところの発表から学び合う。 6 今日の活動を振り返り、友達と交流し学び合う。

<学習者用端末の利活用>



成果と課題

- ・ムーブノートを活用し友達の考えを知ることによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができ、友達と学び合うことができた。
- ・自分の考えを明確にもてない児童は、友達の意見を参考にしてもよいとすることで、安心して自分の考えを出せた。
- ・オクリンクを黒板に映し出すことで、友達の意見を一覧し、確認することができた。